

# オーストラリア学会報

Australian Studies Association of Japan

第37号

2003年1月15日

<http://pweb.sophia.ac.jp/~s-yuga/asaj2/>

## 1. 2003年度総会・全国研究大会のご案内

オーストラリア学会 2003年度総会・全国研究大会は6月14日(土) 15日(日)の両日、名古屋商科大学大学院伏見キャンパスで開催されます。第1日は基調報告(Professor Gordon de Brouwer)、シンポジウム「オーストラリアにおける経済改革とビジネス展開」、懇親会、2日目は個別報告、総会が行われますので、ご参集のほどお願い申し上げます。

オーストラリア学会代表理事 谷内 達  
全国研究大会準備委員会委員長 鎌田 真弓

## 2. 第5期第3回理事会報告(2002年12月8日、東京大学駒場 午後2時から開催)

### (1) 2003年度全国研究大会について (上記1参照)

大会準備委員会委員として、次の理事、会員が選出された。

鎌田真弓(委員長)、小林信一、安藤充、橋本雄太郎(以上理事)、花井清会員

なお、今後も、大会の実行委員会(全国大会準備委員会)には開催校会員、事務局理事がはいることを確認した。

### (2) 学会誌『オーストラリア研究』第15号(2003年3月発行予定)について小林信一理事から、論文審査終了と10本の掲載予定の報告があった。在庫管理、費用などから発行部の削減、バックナンバー(4-10号)の価格を1部1,000円に値下げすることとした。

### (3) 会報37号(本号)にて、全国研究大会の個別報告の募集を行うこととした。会報発行ならびに学会ホームページについては、サポート体制の構築について、鈴木(雄)担当理事と事務局と話し合うこととなった。

### (4) 新入会員10名を承認した。後掲4頁参照

### (5) 北村副事務局長から、AJFが11月に開催した「Teach Australia 実践ワークショップ」の後援団体に本学会が参加したことに対する謝辞があった。あわせて同企画について意見を寄せて欲しい旨、発言があった。(3頁8.参照)

### (6) 事務局運営について 現在の東京大学から桜美林大学へ移転する方針で、会計責任者、名簿管理者は事務局長が務めること、また全国研究大会準備は事務局と競技しながら大会準備委員会が行う2点が確認された。

出席者 = 谷内達、小林宏、関根政美、福嶋輝彦、北村育子、橋本雄太郎、有満保江、安藤充、鎌田真弓、小林信一、加賀爪優(以上理事)、岡崎一浩、鈴木顕介(以上監事)

## 3. 大会報告者(海外在住者)への交通費助成のお知らせ

次回全国研究大会から、報告される会員には海外在住者に限り、交通費助成(一律5万円)を行うことになりました(2001年12月18日第5期1回理事会決定)。前年11月末日までに事務局あて書面にてその旨申し出てください。12月開催予定の理事会で申請案件を審議、決定を

いたしますので、一般の個別報告の申し込み時期より前になります。ご注意ください。

### 全国大会研究発表の募集

第13回大会は、2003年6月14日(土) - 15日(日)に名古屋商科大学で開催されます。発表を希望される会員は、氏名・所属・題目を明記の上、3月20日(木)までに、下記にお申し込みください。(200字程度の要旨を添付してください。)

e-mail [kamadam@nucba.ac.jp](mailto:kamadam@nucba.ac.jp) (鎌田)

郵送受付先 〒470-0193 愛知県日進市米野木町三ヶ峯4-4

名古屋商科大学総合経営学部 鎌田 真弓

なお、個別報告は15日(日)のみとなります。

#### 4. AUS e-Study のお知らせ

豪日交流基金(<http://www.Australia.or.jp>)が「オーストラリアを知り、学び、研究するための」電子ニュースレター AUS@Study を10月から発行しています。オンライン上で、誰でもアクセスできる無料のニュースレターです。メーリングリストへの加入手続きを行うだけで、毎月発行前にお知らせのメールを受け取ることができます。10、11月号にはそれぞれ「オーストラリア研究活動」の頁に杉田弘也会員、塩原良和会員が、11号には鈴木雄雅会員(「オーストラリアのメディア」)が登場しています。

メーリングリストへの登録は <http://lists.australia.or.jp/mailman/listinfo/ausestudy-list/>

#### 5. AJF Sir Neil Currie Awards 豪日交流基金サー・ニール・カリー記念

オーストラリア研究助成プログラム 2002/2003年度応募受付中

オーストラリア政府の文化機関である豪日交流基金が、オーストラリアに対する理解と知的ネットワークを強化するために設立した助成プログラムで、日本のオーストラリア関連の研究者を対象としています。2002/2003年度の応募を受け付けています。

詳細は：<http://www.ajf.australia.or.jp/sirneil/> 豪日交流基金本部事務局 電話：03-5232-4063

#### 6. 『オーストラリア研究』第16号投稿募集

『オーストラリア研究』第16号(2004年1月発行予定)に掲載する論文を募集します。締め切りは2003年8月末日。詳細は最近号掲載の「投稿要領」をご覧ください。

オーストラリア研究編集委員会

投稿・連絡先 〒252-8510 藤沢市亀井野 1866 日本大学生物資源科学部 小林 信一

: 0466-84-3656 Fax: 0466-80-1178 [E-mail: kobayashi@brs.nihon-u.ac.jp](mailto:kobayashi@brs.nihon-u.ac.jp)

#### 7. 『オーストラリア研究』研究文献目録掲載のお知らせ

第12号以降会員の研究文献目録を継続して掲載しております。引き続き会員の協力をお願いします。発表された著書、論文、報告書、翻訳などのなかから、オーストラリア学会の趣旨に関係する目録未掲載の研究文献を選び、お知らせください。

編集作業の都合上、電子メール(またはテキストファイルを含んだFD)をご利用ください。[記入例]は第15号(2003.3予定)を参照し、掲載書式に必ず準じる形でお送りください。

締め切りは2003年10月30日(期日厳守) 連絡先は 編集委員会あて

なお、受信の確認メールが必ず返信されますので、ご注意ください。

## 8 . Teach Australia 報告

豪日交流基金は教育事業の一つとして初めて、先生対象の研修プログラム、「Teach Australia オーストラリアを教える先生のための実践ワークショップ」を2002年11月29・30日の2日間、オーストラリア大使館にて開催しました。このワークショップは、日本でオーストラリアを教えたり研究する先生に、現代オーストラリアの生の最新情報の提供、教える際の適切な資料の提示、日本とオーストラリアの教育に携わる人同士の新しいネットワークが生まれ展開していく、ことを目標としました。オーストラリアからオーストラリア講座を持つ4人のゲスト・スピーカーとオーストラリア学会会員である2人の進行役にご協力いただき、下記のような標題でワークショップを実施し、北海道から鹿児島までの大学・大学院・中・高校の先生、国際交流・留学担当官など幅広く、一日目は93名、2日目は40名の方が参加しました。

11月29日

基調講演「オーストラリアにおける現在のオーストラリア講座の傾向を包括して」

(Dr David Carter、QLD 大学)

ワークショップ「日本でのオーストラリア研究教授法：現在のアプローチの仕方とオーストラリアにおける傾向の影響」(進行役：関根政美・慶応義塾大学教授、鎌田真弓・名古屋商科大学助教授)

体験講座「オーストラリア研究のカギとなるテーマ」

「多文化主義」(Dr Nikos Papastergiadis、Melbourne 大学)

「先住民研究」(Professor Lyndall Ryan、Newcastle 大学)

11月30日

基調講演「オーストラリア講座をオーストラリア以外の環境で教えるには - 挑戦と反響」  
(Professor Chilla Bullbeck、東京大学大学院アメリカ太平洋地域研究センター客員教授)

ワークショップ「オーストラリア講座をオーストラリア以外の環境で教えるには - 日本でオーストラリア研究を教える」(進行役：関根政美教授、鎌田真弓助教授)

寄せられたアンケート回答(抜粋)

- ・オーストラリア大使館で開催されたワークショップということで、オーストラリアが常に動いて、さまざまに変化している国というメッセージをあらためて理解した。
- ・オーストラリアにおける研究・教育の内容、意識、レベルなどを知るネットワークができた。
- ・オーストラリア研究の授業での講義内容、構成など新しいアイデアを得ることができた。
- ・日本国内でオーストラリア研究をやっている人に出会い、それぞれがどのように研究しているか、実施しているかを知る機会を得た。 ・充実した配布資料 ・毎年開催してほしい。

なお、配布資料(英文・和文)は、ネット上の豪日交流基金のページ [www.ajf.australia.or.jp](http://www.ajf.australia.or.jp) に掲載する予定。ワークショップに関するお問合せは：豪日交流基金 久松晶子まで。

電話：03-5232-4006(直通) Fax：03-5232-4655 [akiko.hisamatsu@dfat.gov.au](mailto:akiko.hisamatsu@dfat.gov.au)(日本語可)

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758 桜美林大学国際学部 福嶋輝彦研究室気付  
オーストラリア学会事務局 : 042-797-2661(代) / FAX : 042-797-2743

[Email:terryf@obirin.ac.jp](mailto:Email:terryf@obirin.ac.jp) 事務局住所が変わりましたので、ご注意ください

会費振込先：00190-3-157063 加入口座名：オーストラリア学会

本会報は学会記録以外に、会員のご意見やご要望を掲載します。意見、著書、新刊、訳書、投稿など、事務局または会報担当理事(鈴木、[mailto:HAF00025@nifty.ne.jp](mailto:mailto:HAF00025@nifty.ne.jp))までお送りください。